

県人教だより



ふれあい

発行所：鳥取県人権教育推進協議会（県人教）
〒680-0846 鳥取市扇町21 県立人権ひろば21ふらっと内
電話：0857（22）0578 FAX：0857（22）0593
発行者 岡崎 周治

「第43回人権尊重社会を実現する 鳥取県研究集会」を終えて

鳥取県人権教育推進協議会 会長 岡崎 周治

8月8日（水）とりぎん文化会館梨花ホールを主会場にして、鳥取県東部で開催した「第43回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会」を盛会裏に終えることができました。県内各地から参加者、役員を含め総勢1,700人もの多くの県民が参加し、充実した報告と討議で、研究と実践の交流を深めることができましたと思います。

講演講師や人権劇演者、報告者の皆様、そして諸準備から事後の総括・記録までお世話になった役員の皆様、後援団体・関係機関に改めて深甚なる感謝を申し上げます。

なお現在、県人教事務局では「記録集」刊行に向けて順次作業を進めているところです。



報告 第43回人権尊重社会を実現する 鳥取県研究集会 <概要>

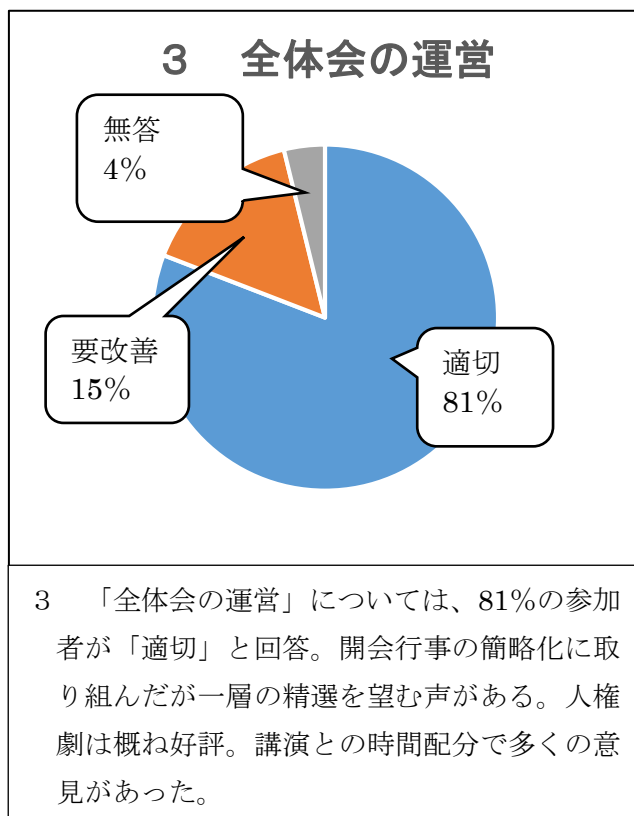
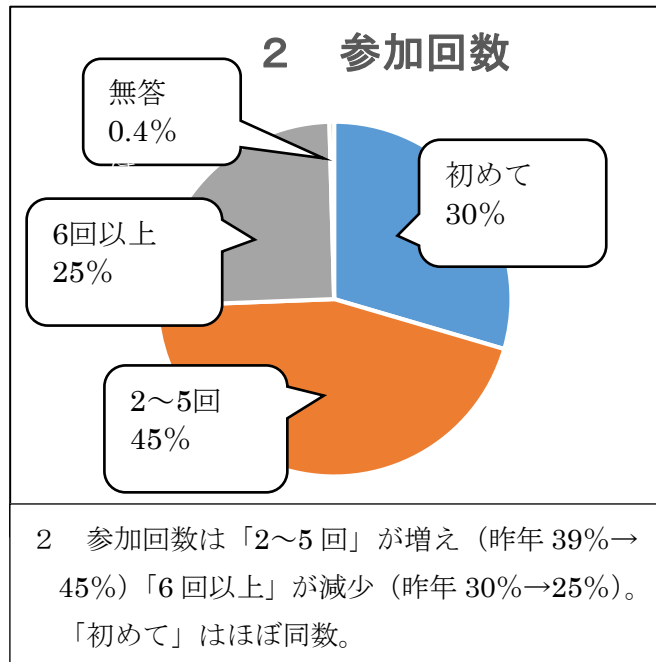
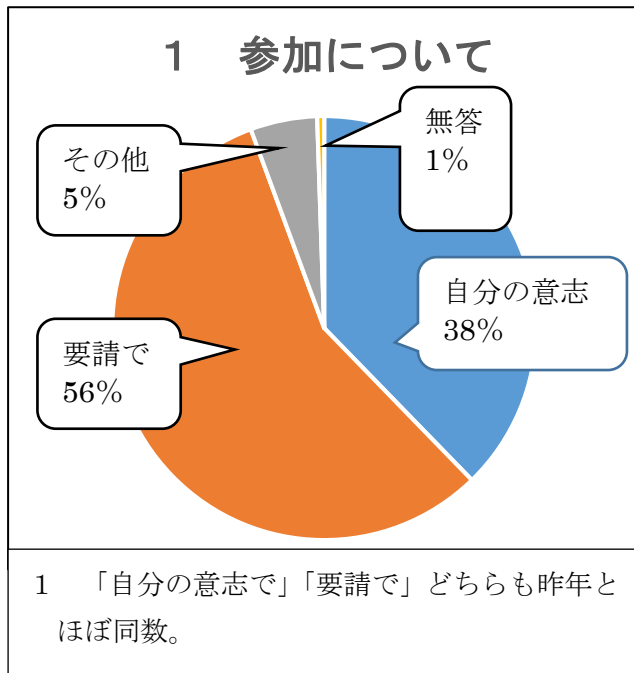
<大会参加者数>

全体会参加者 1,425人 (1,591人) 来賓 19名 役員等 190名
分科会参加者 1,285人 (1,433人) ※参加券回収数。()内は昨年度の参加者。

第1分科会 (人権文化社会の創造)		第3分科会 (共生社会の創造)	
1-1	1-2	3-1	3-2
91人	295人	104人	452人
第2分科会 (就学前・学校教育の創造)			第4分科会 (学習・入門講座)
2-1	2-2	2-3	
145人	71人	92人	35人

<参加者アンケートより>

総回答者数 941人 (回収率 66%)



<「全体会運営」の感想・意見>

○講演、人権劇など多様な内容でした。

○開会行事に時間がとられていますが、必要だと思います。講演の方にももう少し時間を割いてほしいです。
○実行委員会のご苦勞に余りあるものを感じます。



○基調提案が要点を簡潔にまとめられ大変よかった。心配するのは全文を読む人が何人いるか疑問であり、せつかく検討を重ねられた提案が無駄になりはしないかと思った。

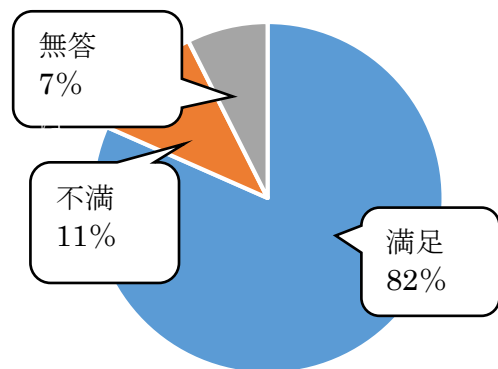
▲講演時間が短すぎて突っ込んだ内容が聞けなくて残念。梨花ホールが満席だったので小ホールでの参加だったがせつかくの演劇の音がわかりにくく熱演されたのに残念だった。スクリーンも全面使用すれば分かりやすかった。

<人権劇・講演の感想>

○人権劇については辛さばかりを出すよりは楽しみや希望を垣間見せる場所があつてなるほどと思った。意義目的がもう少し明確な方が良かった。

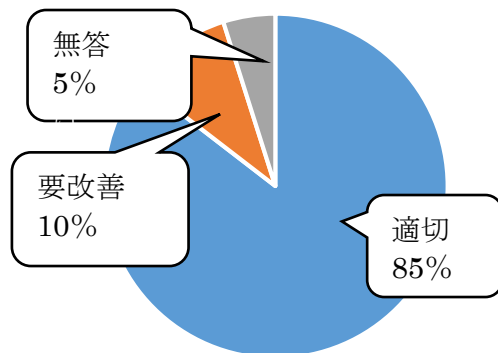
○人権劇はとてもすばらしい。鳥取でも大きな空爆があつたのは知りませんでした。○人権劇を見て涙が止まらなかった。人を殺して称賛される戦争は絶対に起こしてはいけない。○大山口列車空襲は出来事としては知っていたが、戦争によってありふれた日常が一瞬にして奪われる事件だったことを改めて知った。○講演の内容を広く伝えたい。各職場での人権研修を増やしたい。○園田先生の講演をもう少し聞きたかったです。○講演は教師に求められる期待の大きさを改めて実感した。○園田先生のお話がとても心にしみた。とても良い企画だった。▲何がメインなのか明確にして時間配分を。総花的な取組はダメだ。時期的なタイミングで見れば部落差別解消法がメインでは？

4 分科会の内容



4 「分科会の内容」については「満足」が 82% (昨年 79%)。「不満」は 11% (昨年 9%)。

5 分科会の運営



5 「分科会の運営」については「適切」の回答が昨年と同数の 85%。「要改善」も昨年とほぼ同数。



< 「分科会報告・討議内容」の意見から >

- 報告者の熱い思いが伝わってきた。人権問題に懸命に取り組んでいる姿勢が感じられた。全県で共有したい。
- 保護者なので理解できるか不安だったが、多様な取組を知り感心した。
- 親として子どもの自尊感情を育む大切さを学んだ。
- 聞いたり語ったり新たな視点も知れてよかった。あっという間だった。
- 質の高い取組で参考になった。活発な議論が良かった。
- とても勉強になった。研究推進委員さんの話がとても良かった。
- ひきこもり支援のお話がとてもよかったです。地域や企業で何ができるだろうかと考えるきっかけになりました。もっと聞きたかった。
- ▲報告にできたことやよかったことだけでなく、課題や困っていることを入れてほしい。
- ▲人権の内容についてももう少し掘り下げたほうが良い。
- ▲「差別の現実から深く学ぶ」実践の成果をふまえた報告討議を期待したが広く浅い発表で終わってしまった。討議の視点が報告者と質問者でかみ合っていなかった。



< 「分科会の時間・運営について」の意見から >

- 司会の進行が上手だった。研究推進委員さんの話がとても良かった。
- ▲報告にもう少し時間を詳しい報告を聞きたい。
- ▲スクリーンが小さくせっきくの資料が見えない。
- ▲席数の資料は準備されていたのでしょうか。
- ▲会場に行くのに迷った。案内板など設置してほしい。
- ▲あの場合(市民会館大ホール)で挙手して発言は難しい。
- ▲討議の内容があらかじめわかっていたらもう少しスムーズに進んだかもしれない。
- ▲意見が出なければ予定を早める等の臨機応変な対応をしてほしい。

<その他 感想>

- 人権劇での話を同じ県内に住んでいながら知りませんでした。全国でまた全世界で繰り返されている戦争についてもっと理解を深めていく必要があるのでは。
- 園田先生のお話は内容も分かりやすく時間にも配慮されていてすばらしかったです。人権劇は内容も素晴らしいものでしたが、少し時間は長く感じました。
- 引きこもりについては日頃からあまり考えたことがない事象でありました。その中で支援を続けている方々、民間の私たちにも何かできることがあるか考えさせられた。
- それぞれの報告の持つ意味が自分はいまうまく整理できなかつたが2人の推進員の方の話で胸におちた。
- 報告は素晴らしい実践だった。差別事象に気付く意識を高めることが大切だと思った。取り巻く環境が変化していく中、チームで改革していかれたことがすばらしい。
- 報告内容がよく分かり、対応が適切であり参考になった。今もってこのような差別事象が発生する現実を見ると、人権教育（同和教育）の重要性が再認識させられた。
- とても勉強になりました。本物を見て、日々の保育実践につなげ子どもたちだけでなく、保護者も変えていく姿、すばらしいと思いました。
- 人権問題について見過ごしていることが多いと反省しました。今日の学びを実践に取り入れたい。
- 駐車場は近隣の学校等と協力し参加者が混乱しないように。園田先生の話とても参考になった。
- 準備、運営等大変でした。お世話になりました。発表者の皆様ありがとうございました。

事務局：たくさんのご意見・ご要望をありがとうございました。来年度の集會に生かしたいと思います。



来年の第44回集會は

2019年8月8日（木）
倉吉未来中心です。

※米子会場から変更になりました。

第70回全国人権・同和教育研究大会 （滋賀大会）

期日：2018年11月17日（土）～18日（日）

☆県内報告者

第1分科会

絹見安明さん、熊谷裕子さん

（倉吉市立上小鴨小学校）

第4分科会

森 悟 さん、福原潤一さん

（人権学習サークル「トラの穴」）

☆全人教実践報告協力者（司会者）

坂口俊広さん（県立鳥取西高等学校）

佐藤淳子さん（とっとり震災支援連絡協議会）

